



北海道置戸高等学校

PTAだより

第134号
令和8年3月1日
発行 置戸高校PTA

「卒業を祝して」 PTA会長 K・N

置戸高等学校3学年の皆さん卒業おめでとうございます。また保護者の皆様、お子様が立派に成長され、卒業という今日の日を迎えられたこと、本当に心よりお祝い申し上げます。

校長をはじめ、先生方におかれましては、「自ら考え、自ら律し、自らを創る」を目指した心温まる指導を行っていただき、深く感謝申し上げます。また日頃より置戸町の皆様におかれましては、置戸高校の生徒を温かく見守っていただき、厚く御礼申し上げます。

卒業生の皆さん、暑い日も寒い日も、3年間、校舎へ通い、「福祉」を学び続け、福祉のスペシャリストになることができましたか。入学時は11名、2年次には今ここにいる9名となり、今後どうになってしまうのだろうと不安だったことでしょうか。それでも、介護実習に必要な許可テスト全員合格に向けて、放課後や休日に、皆でスポーツセンターに集まって介護の勉強と練習。心一つにして、許可テストに全員で合格したことで、不安はいつの間にか消え、自信と仲間意識が結束されたのではないのでしょうか。3年次には各施設で長期実習を終え、全員が国家試験に向けて日々努力し続けたこと、そして本日、卒業式を迎えることができたことを誇りに思ってください。この3年間努力したことは、皆さんがそれぞれ進む道で大いに役立つことでしょうか。そして皆さんを支え続けてくれた方々にも、感謝の気持ちを伝えることを忘れないでください。担任の先生、副担任の先生、本当に3年間、生徒を時に厳しく、そして見守り、育て、成長させていただいたこと、保護者を代表して、深く感謝申し上げます。

最後に卒業生の皆さん、これからは大人として責任と自覚を持ち、さらなる成長と輝かしい未来になることを切に願っています。そして、今後の活躍を期待しています。卒業おめでとう！！

「前を向いて自分らしい未来へ」 3学年担任 N・T

卒業生の皆さん、そして保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。多くの方々に支えられながら今日という日を迎えられたことを、担任として心からうれしく思っております。

保護者の皆様には、この3年間、本校の教育活動に深いご理解と温かいご協力を賜りました。時に優しく、時に厳しく、お子様の成長を第一に支えてこられたことに、心より敬意と感謝を申し上げます。

置戸高校での3年間は、9名の皆さんにとって、決して楽しいことばかりではなかったと思います。辛いこと、苦しいこと、逃げ出したくなるような場面もあったでしょう。高校生という立場で国家試験合格を目指すことは、決して容易な挑戦ではありませんでした。同じ目標に向かって努力を重ね、励まし合いながら歩んできたからこそ、乗り越えられたのだと思います。

親元を離れる決断や、周囲とは異なる道を選んだこと、そして今日まで歩み続けてきたこと。その一つ一つに、私は心からの尊敬の念を抱いています。

どうか置戸高校で身につけたその力を胸に、自分らしく歩み続けてください。皆さんのこれからの活躍を、心から応援しています。

最後になりましたが、置戸町をはじめ関係各所の皆様には、多大なるご支援とご協力を賜りましたことに、改めて深く感謝申し上げます。

「卒業に寄せて」 校長 A・K

晴れて高等学校の課程を修了した三年生の皆さん、卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様方には、お子様たちの卒業を心よりお祝い申し上げますとともに、これまで本校の教育活動にご理解とご協力を賜りましたことに厚くお礼を申し上げます。

皆さんが入学した令和5年はコロナ禍から学校生活や日常が平時へと大きく舵を切った歴史的な節目の年でした。

国の厳しい制限や、外出自粛や濃厚接触者の特定がなくなり、学校では授業や行事で多くのルールが見直され、対面でのコミュニケーションや行事が少しずつ戻ってきました。しかし、日常生活が戻ったように見えて、実は以前とは全く違う景色であることも私達は経験しました。今迄と違う新しい日常、ニューノーマルが始まった年でもありました。その中で、創意工夫により高校生活を高校生らしく過ごした卒業生の皆さんの三年間はいかがでしたか。

濃密な置戸町での三年間の生活がそこにはあったと思います。

皆さんは、これからの長い人生の中で色々な壁にぶつかることもあると思いますが、この置戸での貴重な経験を生かして、どんな時も自分らしく輝き続け、充実した日々を送るために、一生学び続ける姿勢を貫いてください。

社会が急激に変化する中、直面する様々な課題に柔軟に逞しく対応するためには学びのための時間や機会を惜しむことなく選択し、絶えず学び続けることが大切です。そして、大きな夢を持ち続けその実現に向かって努力することの素晴らしさ、壮大で、いっけん叶いそうにない夢でも一步一步地道に前に進むことにより、その夢が可能であることを自らで示してください。そして、こんにちまで本校の先輩たちにより、連綿と受け継がれてきた置戸高校生であったという「矜持」を持ち、伝統と歴史に加わる新たな一人として活躍してください。

皆さんがこれから進む道も、今までの経験にないことへの対応力が求められますが、自分らしさを大切に生涯学び続ける姿勢を持ち続けてください。

結びとなりますが、皆さんが今後一層変化の激しい社会の中で、その道の先を切り拓きながら、逞しく様々な課題に挑戦し歩まれることを期待しますと同時に、保護者の皆様のご健勝を祈念し、これからも本校に温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

「置戸で育んだ「絆」と「自立」を糧に」

3学年保護者代表 T・Y

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

15歳という若さで親元を離れ、この置戸の地で自立の一步を踏み出したあの日。

不安を抱えながらも、皆さんは寮生活や介護実習という大きな試練に立ち向かってきましたね。その傍らには、離れて暮らす家族に代わって皆さんの歩みを静かに見守り、道しるべとなって支えてくださった先生方の存在がありました。先生方と共に汗を流し、励まされた日々は、皆さんの心に深い安心感と勇気を与えてくれたはずです。福祉という道は、誰かの人生に寄り添う、尊くも責任ある仕事です。親元を離れて自分を磨き、先生や仲間と手を取り合って「人を思いやる心」を育んできた皆さんなら、これから出会う困難も必ず乗り越えていけるでしょう。

置戸で手にした技術と「優しい手」は、これからの社会で多くの人の希望となります。18歳の若きプロフェッショナルとして、胸を張って未来へ羽ばたいてください。皆さんの新しい門出が、光り輝くものであることを心より願っています。

ホームページ

Facebook

Instagram

note



会務報告、
3学年進路実績は
コチラから

「介護福祉士国家試験の受験を終えて」 3年 K・Y

私たち3年生は1月25日に、ずっと目標としていた介護福祉士国家資格の試験を無事終えることができました。国家試験までの生活では、学校で解いた模試を持ち帰り、家に帰ってすぐに解説ノートを作成し、提出期限に追われながらも挫けず取り組む日々でした。提出していた解説ノートが返ってくる時、私は解説担当であった先生に「一緒に放課後勉強しない？」と声をかけていただきました。私はずっと勉強が苦手で、勉強から逃げてきた人生でした。そのため、どのように勉強をしたら良いのか、自分自身にあった勉強方法は何か、何も分からない状態でした。そんな時、先生が声をかけてくださり、すごく嬉しかったのを覚えています。その日から先生との勉強会が始まり、苦手だった「社会の理解」の知識が身につく、模試でも点数を取れるようになりました。それから少しずつではありましたが、全体の点数も伸びていきました。ここまで諦めず国試に向かって一生懸命勉強に取り組むことができたのは、先生が分かりやすく教えてくださったおかげです。勉強が苦手な私をここまで手厚く教えてくださり、ありがとうございました。



「卒業にあたって」 3年 F・S

3年間を振り返ると、たくさんの思い出が蘇ります。入学当初は緊張と不安でいっぱい、ホームシックで涙を流す人もいましたが、友人や先輩、先生方の支えがあり、楽しい高校生活のスタートをきることができました。

2年生では、項目テストや許可テストがあり、クラスでぶつかり合ったり、助け合ったりしながら乗り越えてきました。許可テストが、一番クラスの団結力が高まり、成長できた時期だったと思います。

3年生では、国家試験勉強が本格的に始まり、競争心が芽生え、全員全力で勉強に励んでいました。寝不足や、模試の点数が上がらない毎日に、精神的に参ってしまいそうになることも多くありましたが、たくさんの方々からの応援と支えがあり、乗り越えることができました。

置戸高校で培った力を、社会に出ても存分に生かしていきたいです。新しい出会いやチャンスに感謝し、卒業は新しいスタートだと思って、一生懸命頑張っていきたいです。



「介護実習で学んだこと」 1年 S・M

私が5日間の実習で学んだことは、コミュニケーションです。私は人と話すことが苦手で、実習初日は利用者様への話しかけ方も話題提供も上手くいきませんでした。ですが、施設の職員の方々から、話す時に屈むような姿勢だと利用者様に気を遣わせてしまうこと、最初は話しやすい利用者様に話しかけると良いことなどを教わりました。そこからだんだんと利用者様に積極的に話しかけに行くことも、話題提供もできるようになっていきました。

また、コミュニケーションの中で、うまく聞き取れなかった時には曖昧な返事をしたり、別の話題に変えたりするのではなく、聞き取れるまで何度も聞き、利用者様と向き合うことが大切だということも学びました。ただ、私は何度も聞くのは申し訳ないという気持ちもあり、その日から今まで以上に利用者様の話を真剣に聞くように意識しました。

短い実習期間でしたが、多くのことを学ぶことができた5日間でした。今回学んだことを、日常生活や今後の実習に活かしていきたいです。



「2年生での学びと来年への決意」 2年 T・M

2年生に進級すると、福祉では座学の授業よりも実技を学ぶことが多くなりました。9月に許可テスト（長期実習に行くための校内実技テスト）が始まったときには、なかなか合格することができずにいましたが、クラスみんなで一致団結して最終的には全員で合格することができました。また、2年生になって介護過程という新しい授業も始まりました。

ここでは、利用者様が安全かつ快適な日常生活が送れるようにアセスメントを行いました。最初は、利用者様の状態から自立の視点などを引き出すのがとても難しかったですが、先生が分かりやすく教えてくださり、だんだんと引き出すことができるようになりました。

3年生になったら実習や模試の解説が本格的に始まるので、クラスでまた一致団結して頑張っていきたいです。そして介護福祉士国家試験に向けて、8人全員が欠けることなく、合格できるよう頑張っていきます。

